



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	138,093	△11.9	△329	—	△188	—	△179	—
2020年3月期第2四半期	156,792	1.6	556	△24.7	709	△15.1	455	△14.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 323百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △264百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△32.33	—
2020年3月期第2四半期	81.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	75,092	20,983	27.9	3,780.56
2020年3月期	70,414	20,992	29.8	3,782.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,983百万円 2020年3月期 20,992百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	△6.2	△500	—	△350	—	△450	—	△81.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,562,292株	2020年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,053株	2020年3月期	11,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	5,550,343株	2020年3月期2Q	5,551,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により経済活動は停滞し、設備投資、雇用・所得環境、個人消費の回復は鈍く、依然として厳しい状況が続いていますが、国内外の経済活動再開により、輸出、生産活動には持ち直しの動きがみられます。先行きについては、新型コロナウイルスの収束に兆しがみえず、不透明な状況にあります。

消費者心理は、雇用・所得環境など経済情勢の先行き不透明感から極めて厳しい状況にあります。また、消費者の購買行動は、新型コロナウイルス感染防止から人との接触を控える行動様式が続き、食料品などの日用品購買が中心になっていますが、節約志向は依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染防止に伴う行動自粛や国際的な経済活動の停滞などの影響により、内食関連需要は一部伸長するものの、外食・ホテル・インバウンド関連需要や輸出の回復は鈍く、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、極めて厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は138,093百万円（前年同四半期比88.1%）となりました。損益面では、売上総利益は9,673百万円（前年同四半期比86.8%）となり、営業損失329百万円（前年同四半期は営業利益556百万円）、経常損失188百万円（前年同四半期は経常利益709百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失179百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益455百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、内食関連の需要は堅調な一方、外食関連の需要が減少したことにより、売上高89,387百万円（前年同四半期比90.1%）となりましたが、売上総利益率の上昇および間接経費全般の節減によりセグメント利益629百万円（前年同四半期比176.6%）となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、量販店関連の販売が増加したものの、外食・ホテル関連の販売が大きく減少したことにより、売上高49,045百万円（前年同四半期比86.8%）、セグメント損失887百万円（前年同四半期はセグメント損失118百万円）となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、外食・輸出関連の需要が大きく減少し、供給過多による販売単価の低下から、売上高3,889百万円（前年同四半期比97.8%）、セグメント利益22百万円（前年同四半期比8.9%）となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、内食関連の販売は堅調でありましたが、外食・ホテル・ブライダル関連の販売が大きく減少したことにより、売上高1,979百万円（前年同四半期比83.9%）、セグメント損失116百万円（前年同四半期はセグメント損失88百万円）となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、内食・ギフト関連の需要が堅調であったことにより、売上高957百万円（前年同四半期比100.4%）、セグメント損失3百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

#### <その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高1,518百万円（前年同四半期比62.4%）、セグメント損失81百万円（前年同四半期はセグメント利益71百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて4,677百万円増加し、75,092百万円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,316百万円、たな卸資産の増加2,799百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて4,687百万円増加し、54,109百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,710百万円、借入金の増加3,102百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて9百万円減少し、20,983百万円(自己資本比率27.9%)となりました。増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加479百万円によるものであります。減少の主な要因は、利益剰余金の減少491百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて185百万円減少し、1,957百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,273百万円の支出(前年同四半期は2,788百万円の支出)となりました。仕入債務の増加1,920百万円(前年同四半期は1,970百万円の減少)がありましたが、売上債権の増加1,294百万円(前年同四半期は4,846百万円の減少)、たな卸資産の増加2,799百万円(前年同四半期は5,964百万円の増加)が主な資金の減少要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは641百万円の支出(前年同四半期は945百万円の支出)となりました。有形固定資産の取得による支出458百万円(前年同四半期は728百万円の支出)が主な資金の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2,729百万円の収入(前年同四半期は3,792百万円の収入)となりました。配当金の支払331百万円(前年同四半期は331百万円の支払)がありましたが、借入金の増加による純収入3,102百万円(前年同四半期は4,247百万円の純収入)が主な資金の増加要因となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月12日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,147	1,962
受取手形及び売掛金	25,918	27,234
商品及び製品	23,783	26,575
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	285	292
その他	613	758
貸倒引当金	△97	△108
流動資産合計	52,650	56,714
固定資産		
有形固定資産	11,285	11,324
無形固定資産	308	355
投資その他の資産		
投資有価証券	4,413	5,106
その他	2,082	1,896
貸倒引当金	△324	△303
投資その他の資産合計	6,170	6,698
固定資産合計	17,764	18,377
資産合計	70,414	75,092
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,845	19,556
短期借入金	14,469	17,945
1年内返済予定の長期借入金	3,071	2,935
未払法人税等	267	198
賞与引当金	718	606
その他	3,308	3,413
流動負債合計	39,681	44,656
固定負債		
長期借入金	6,430	6,193
退職給付に係る負債	2,472	2,423
役員退職慰労引当金	128	112
その他	709	722
固定負債合計	9,740	9,452
負債合計	49,421	54,109
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	8,455	7,963
自己株式	△27	△28
株主資本合計	21,013	20,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	718	1,197
繰延ヘッジ損益	8	0
土地再評価差額金	△443	△464
退職給付に係る調整累計額	△304	△272
その他の包括利益累計額合計	△21	460
純資産合計	20,992	20,983
負債純資産合計	70,414	75,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	156,792	138,093
売上原価	145,644	128,419
売上総利益	11,147	9,673
販売費及び一般管理費	10,591	10,002
営業利益又は営業損失(△)	556	△329
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	81	80
その他	180	166
営業外収益合計	263	249
営業外費用		
支払利息	99	85
その他	10	24
営業外費用合計	109	109
経常利益又は経常損失(△)	709	△188
特別利益		
受取保険金	—	65
特別利益合計	—	65
特別損失		
投資有価証券評価損	12	3
固定資産売却損	—	12
特別損失合計	12	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	696	△138
法人税、住民税及び事業税	165	91
法人税等調整額	75	△50
法人税等合計	241	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	455	△179
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	455	△179

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	455	△179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△732	479
繰延ヘッジ損益	0	△8
退職給付に係る調整額	12	32
その他の包括利益合計	△719	503
四半期包括利益	△264	323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△264	323
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	696	△138
減価償却費	447	470
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△115	△9
退職給付に係る資産又は負債の増減額	58	△18
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△111
受取利息及び受取配当金	△82	△83
支払利息	99	85
売上債権の増減額(△は増加)	4,846	△1,294
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,964	△2,799
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,970	1,920
その他	△372	△75
小計	△2,387	△2,055
利息及び配当金の受取額	82	84
利息の支払額	△96	△84
法人税等の支払額	△388	△217
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,788	△2,273
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△728	△458
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
その他	△206	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△945	△641
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,634	3,475
長期借入れによる収入	68	100
長期借入金の返済による支出	△454	△473
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△122	△40
配当金の支払額	△331	△331
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,792	2,729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	58	△185
現金及び現金同等物の期首残高	2,734	2,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,793	1,957

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済、企業活動に多大な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難であります。当社グループは、当第2四半期連結会計期間末時点で入手可能な外部情報等を踏まえて、今後2022年3月期までの一定期間にわたり当該影響が継続するものと仮定し、固定資産に関する減損損失の認識要否の判断及び測定、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	95,098	55,199	3,103	1,201	406	155,009	1,783	156,792	—	156,792
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,153	1,289	872	1,158	546	8,020	649	8,669	△8,669	—
計	99,252	56,488	3,975	2,359	953	163,029	2,432	165,462	△8,669	156,792
セグメント利益 又は損失(△)	356	△118	256	△88	△27	379	71	450	105	556

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額105百万円には、セグメント間取引消去455百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△350百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	85,440	47,707	2,703	865	417	137,134	958	138,093	—	138,093
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,946	1,337	1,185	1,113	540	8,123	560	8,684	△8,684	—
計	89,387	49,045	3,889	1,979	957	145,258	1,518	146,777	△8,684	138,093
セグメント利益 又は損失(△)	629	△887	22	△116	△3	△354	△81	△436	106	△329

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額106百万円には、セグメント間取引消去382百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。